



日立一高ラグビー部OB会 会報

<http://www.ichiko-rugby-obc.com>

○日立一高の「附属中学校」にラグビー部の設置が決定！！

日立第一高等学校に併設される中学校の正式名称が、今年6月の県議会で「日立第一高等学校附属中学校」に決定しました。

その後、7月27日（水）に小学校6年生保護者を主な対象とした保護者説明会が開催され、学校概要・学校生活・進路指導・特別活動・入学者選抜等について説明がありました。

特別活動においては、附属中学校にラグビー部が設置されることが決定し（運動系部活動は7団体で、他に野球・サッカー・バレーボール女子・ソフトテニス女子・卓球・剣道）、平成24年4月開校に向けて新たな受け皿が整い、ラグビー部も新たなスタートを切ることになります。

詳しくは、日立一高ホームページ[<http://www.hitachil-h.ed.jp/>]の「附属中学校情報」の欄をご覧ください。

（監督：橋本 晃輝）



【事務局から】

OB会報第13号でもお知らせしましたように、日立一高は平成24年4月から「併設型中高一貫教育校」に移行しますが、OB会が中心となっていち早く学校側にアプローチしたこともあり、上記の橋本監督からの報告のとおり、附属中学校へのラグビー部の設置が決定しました。

もちろん、一学年40人×2クラス、半数が男子生徒としても、3学年合わせて120人の男子生徒しか在籍できませんので、その中で7つの運動部のほか、文化部も含めて部員の争奪戦？が繰り広げられることになります。

もちろん、中高一貫教育校化は、医歯薬・難関理工系大学への進学が主たる目的になりますが“健全な魂は健全な肉体に宿る”と言います。紳士のスポーツラグビーに中高一貫で取り組むことにより、心身ともにバランスの取れた生徒が育ってくれるのではないのでしょうか。

OB・保護者の皆様には、この機会にぜひご子弟の附属中学校への進学をご検討いただき、日立一高ラグビー部の存続をかけて附属中ラグビー部から高校ラグビー部への太いパイプを築いていきたいと思えます。

※「募集要項」の配布について

1. 配付期間 平成23年10月11日（火）～
（※土、日、祝祭日を除く）
2. 配付時間 午前9時～午後5時まで
3. 配付場所 日立一高

※「出願期間」及び「入学試験」について

1. 出願期間 12月1日（木）、2日（金）、5日（月）
の3日間
2. 入学試験 平成24年1月7日（土）

日立第一高等学校附属中学校

入学する心、
未来を拓く力。

出願期間 平成23年12月1日（火）～12月5日（月）
入学試験 平成24年1月7日（土）

詳しくは日立一高ホームページをご覧ください。
<http://www.hitachil-h.ed.jp/>

茨城県日立第一高等学校附属中学校
〒312-0200 茨城県日立市宮原町3丁目15番1号
TEL: 0294-22-6488 FAX: 0294-22-6489
E-mail: 3120200@hitachi-h.ed.jp

○平成23年度 学年幹事会（定例総会）開催報告

前年度の事業報告や本年度の事業計画等を審議する学年幹事会を7月2日（土）に出席者33人（学年幹事28人、賛助会員4人、父母会1人）で開催し、各議案について原案どおり承認されました。

なお、前幹事長の近藤雅年氏から、来年の関東大会は本県開催につき、4校が出場できる千載一遇のチャンスなので、OB会としてこれまでのような緊縮予算ではなく遠征や合宿などを積極的に支援すべきとの意見が出されました。

また、鈴木豊次氏からは、700人近いOBがいるのに対し年会費納入者が95人とは恥ずかしい状況、ラグビー経験者にはもっと「熱い」思いがあって然るべきではないか、との意見がありました。

どちらも貴重な御意見ですので、平成23年度は、会員各位にこれまで以上に会費納入を強く働きかけるとともに会員の意識改革に努め、1円でも多くの財源を確保して現役部員の活動を強力に支援していくこととしました。



1. 平成22年度活動報告

1-1 主な支出の状況（実支出額）

（単位：千円）

	予算	決算	比較	備 考
1) 学年幹事会	50	69	+19	37人参加
2) 役員会	50	8	-42	中高一貫校化への対応検討
3) OB会報発行	140	133	-7	10月に第13号を発行
4) 各大会への資金援助	80	80	0	予定通り実施
5) 菅平遠征への資金援助	80	80	0	※
6) 菅平への指導員派遣	50	50	0	※
7) ミニ合宿への資金援助	40	30	-10	秋合宿を実施、春は中止
8) ゴルフコンペ開催	30	40	+10	参加者から寄付多数
9) 蹴り初め開催	0	-22	-22	OB戦及び豚汁
10) 交流・親睦会	60	65	+5	秋合宿BBQ、新年会等
11) 慶弔費	50	20	-30	会員の逝去
12) 事務費	80	51	-29	事務用品購入、郵送料等
13) その他（予備費）	40	220	180	記念品（ネクタイ）購入等
計	750	824	+74	予算枠を超過

※予算超過の主因となったネクタイ購入は、平成7年に実施した創部50周年記念事業時の記念品をここ数年卒業生への記念品として贈呈していましたが、在庫がなくなったため復刻したものです。

1-2 主な収入の状況（懇親会参加費、御芳志、預金利子等を除く。）

（単位：千円）

	年会費		広告料		計
平成19年度	455	101人	-	-	455
平成20年度	430	125人	260	15件	690
平成21年度	356	108人	244	16件	600
平成22年度	382	95人	215	13件	597

1-3 重点実施項目のフォローアップ

- 1) OB会費の納入促進・・・前年度より納入者は13人減少したが、金額は26,000円の増
- 2) OB会報広告料の増大・・・新規を2件開拓できたが、脱退者もあった。
- 3) グッズ品の販売・・・採算性に不安があり、検討を中断
- 4) 指導者の定着、先生と指導者の連携強化・・・OB集合日は定着。指導者間の十分な打合せが今後の課題
- 5) 父母会との交流・・・総会、役員会ほか相互交流を実施。今後も緊密な交流を図る。

1-4 会計報告(収支総額)

	予算(円)	実算(円)	増減(円)
前年度繰越	1,059,806	1,059,806	0
当年度収入	750,000	877,227	127,227
当年度支出	750,000	1,107,311	357,311
次年度繰越	1,059,806	829,722	△230,084

※収入は当初予算を上回ったが、支出が膨らんだため、繰越金が前年残高より230千円減少した。

2-1 重点実施項目

- 1) 収入の確保と予算枠の厳守
- 2) 現役の活動支援
- 3) 併設型中高一貫教育校への対応

2-2 支出の部

(単位:千円)

	H22決算	H23予算	備 考
1) 学年幹事会	69	60	
2) 役員会	8	20	中高一貫教育校への対応検討
3) OB会報発行	133	130	9月に第14号を発行予定
4) 各大会への資金援助	80	80	
5) 菅平遠征への資金援助	80	80	
6) 菅平への指導員派遣	50	50	
7) ミニ合宿への資金援助	30	60	秋合宿、春合宿
8) ゴルフコンペ開催	40	30	参加者から寄付多数
9) 蹴り初め開催	-22	0	OB戦及び豚汁
10) 交流・親睦会	65	60	秋合宿BBQ、新年会等
11) 慶弔費	20	20	
12) 事務費	51	50	事務用品購入、郵送料等
13) その他(予備費)	220	10	
計	824	650	前年比 -174千円

2-3 収入の部

(単位:千円)

	年会費		広告料		計
平成22年度予算	400	120人	300	20件	700
〃 決算	382	95人	215	13件	597
平成23年度予算	400	105人	250	16件	650

○平成22年度 菅平遠征報告

監督 橋本 晃輝(昭和60年度 第38回卒)

今年もたくさんのOB会、父母会の皆様の熱い声援を受け充実した時間となりました。

3年生が3人参加しての菅平合宿。今年は県立千葉(千葉)、甲府工業(山梨)、早稲田実業(東京)、越工業(愛知)、鈴鹿(三重)、聖光学院(福島)と試合を実施しました。上級生(2、3年生)チームに1年生が入る布陣となるので、チームとして一からのスタートになりますが、2・3年生の頑張りのもあり試合結果以上に内容が充実した戦いぶりでした。いろいろなレベルの戦いができ、1年生はゲームに慣れる経験以上に鍛えられたと思います。チームとして、個人として通用する部分、鍛え直さなければならない部分が明確になりました。満足する部分はまだまだ少ないですが、秋シーズンにつながる手応えを掴んだことは大きな収穫でした。この合宿を春シーズンに取り組んできたことの再確認、そして秋シーズンにレベルアップするきっかけにして、秋の大会に向けてチームの再構築をしたいと思います。

また、練習面では例年おなじみの吉野・益子先輩にコーチングを受け、短期間ではありましたが質の高いアドバイスをいただきました。今年の菅平合宿は怪我によるリタイア0人で、充実した合宿となりました。

8月5日(金) 鈴鹿高校(三重県) ○6-0 (※試合結果の数字はトライ数です)

越工業(愛知県) ×1-2

鈴鹿高校（三重県） ○ 6-1

6日（土）早稲田実業（東京都）× 1-3 ※早稲田実業は、春の東京都大会でベスト8に入った実力校
 × 2-5
 聖光学院（福島県） ○ 4-0
 甲府工業（山梨県） ○ 2-1 ※甲府工業は、桂高校とともに山梨県で二番手を争う実力校
 （その他、1年生主体のチームで15分×2ラウンド実施）

7日（日）県立千葉高校（千葉県）× 2-3
 × 1-5
 △ 1-1

※今回も菅平遠征に当たっては、賛助会員の長谷川さん、中野さんから参加費以外に御芳志をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



○ 今年度の現役部員の戦績

監督 橋本 晃輝

4月の関東大会県予選は第5シードとして清真学園に挑戦しましたが、準々決勝で5-90のスコアで敗れることとなります。ここ数大会、準々決勝に進出するもなかなか結果を残せない要因の一つに、怪我人の存在があります。勝負どころの試合へたどり着く前に怪我人を抱え、勝負どころでチーム力が出し切れないということです。ラグビースキルの向上も大切ですが、フィジカル面（心身共に）を鍛え直す必要性を痛感しました。

6月の県民総体は、今年度より関東大会開催日の変更に合わせて関東大会出場校（茗溪学園、清真学園、常総学院）は不参加となりました。県新人大会・関東大会県予選の結果をシードポイントに換算して、上位より（A、B、C...）4チームずつのブロック大会です。Aブロック1回戦は勝田工業と対戦しました。日頃より練習を共にしているライバル校ですが、久しぶりの公式戦での対戦ということもあり気合いが入りました。持ち味のスピードを生かし、テンポの速い攻撃を仕掛けたことやブレイクダウンの局面で機先を制するファイトができたこと、そしてインサイドのディフェンスで相手の攻撃を封じ込めたことで会心の勝利となりました。Aブロック決勝戦ではつくば秀英と対戦しました。自分たちの実力を計るのにまたとないチャンスととらえました。前半先制されるも展開勝負で加点しました（7-14）。後半モールドライブで点差を開かれるもFWが攻守に頑張り追撃しました。しかし、勝負どころでのミスからカウンター攻撃を受け、万事休す（14-33）。スコア以上に手応えを感じた試合内容でしたが、このスコアではまだまだ相手にプレッシャーをかけられないなと感じました。でも、この時期に上位校と対戦し手応えを掴んだことが何よりの収穫でした。課題を克服して、秋シーズンに臨みます。

【平成22年度全国高校総体（兼）第90回全国高校ラグビー大会茨城県予選】 ※前号に未掲載のため参考

1回戦	日立一	55-5	水城高校
2回戦	日立一	46-42	東洋大牛久
準々決勝	日立一	0-130	清真学園

【平成23年度茨城県高校ラグビー新人大会】

準々決勝	日立一	10-48	常総学院
5位決定戦	日立一	46-0	東洋大牛久

【第59回関東高校ラグビー大会 茨城県大会】

2回戦	日立一	26-15	水戸一高
準々決勝	日立一	5-90	清真学園
5位決定戦	日立一	34-17	合同B（土浦一、土浦工、つくば国際、牛久、取手一）

【平成23年度県民総体（兼）第65回国体ラグビー茨城県大会】

《Aブロック》

1回戦	日立一	22-17	勝田工高
決勝	日立一	14-33	つくば秀英



【平成23年度 新人戦 v.s.東洋大牛久】



【平成23年度 県総体 v.s.つくば秀英】

○「蹴り初め」を開催しました

新春恒例の「蹴り初め」を1月3日（月）に日立一高グラウンドで開催しました。

暖かな好天に恵まれ、老若合わせて100人近いOB・関係者が集まり、新年あいさつの後、午前10時から20代・30代・40歳以上の3チームを編成してOB戦を行いました。

現役に怪我人が多いため、若手OBを2～3人補強してチームを編成しましたが、その若手OBに引っ張られ20代・30代のチームには走り勝って1・2ラウンドを連取、現役チームが幸先のよいスタートを切りました。

最後に登場した40歳以上のオジサンチームは、さすがに貫禄とキャリアの違いを見せ、（現役の遠慮もあったか）トライを重ねましたが、最後まであきらめず現役も2トライを返すことができました。

今年も試合後は、2週間後に迫った新人戦に向けて、OBが胸を貸して練習台になり、最後は第5回卒の大内二郎先輩と保護者達が作ってくれた豚汁を食べて解散しました。大内さん・保護者の皆さん、早朝からの準備ありがとうございました。

なお、今年も昨年同様、卒業したての10代・20代のOBが多数参加してくれたため、グラウンドは活気に満ちていました。来年も再来年も、多数の若手OBが参加してくれることを期待しています。（もちろん、スパイクを履いて！！）



○ 第7回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

スポーツの秋到来、ゴルフシーズンがやって参りました。恒例となりました日立一高ラグビー部OB会の第7回ゴルフコンペを下記の通り開催いたしますので挙ってご参加くださいますようお願いいたします。

今迄に参加している方にはご案内を差し上げておりますが、参加したことのないOB会員の方で今回参加したいという方は事務局宛ご連絡ください。折り返し今回の詳細なご案内をお送りいたします。

1. 日 時 11月12日（土）午前8時30分集合
2. 場 所 ザ・オーシャンゴルフクラブ
3. 費 用 12,500円
（昼食代、プレイ後のパーティ費・賞品代含む）
4. その他 今回は、ゴルフ終了後の『宿泊会』は実施しません。
【ゴルフコンペ事務局：笠井 知洋、TEL：080-5057-3065】



○ OB通信

このコーナーは、OBの方々に昔の思い出や近況等のご紹介をいただいています。今回は、藤田一幸さん、鶴巻仁さんにお願しました。お忙しい中ありがとうございました。

「雨」 藤田 一幸（昭和53年度 第31回卒）

今年の7月に旅行をした。立山から室堂、黒部湖（黒四ダム）を通って扇沢へ、俗に言うアルペンルートである。出発前日まではカラリとしたいい天気であったが、前線の影響で当日は雨。新潟、福島方面は大きな被害も出た。楽しみにしていた弥陀ヶ原も黒部平からの絶景も雨に煙っていて何も見えず仕舞いであった。

「また、雨かあ。何かあるといつも雨だなあ。そういえばあの時も…」

昭和53年11月13日、場所は水戸市堀原運動公園ラグビー場。ひどい雨だった。グラウンドには水たまりがあらこちに出来ていた。僕たちはそこに立っていた。その日は全国大会県予選の決勝、相手はこの1年間いつも鎧を削ってきた勝田高校。

試合開始のホイッスル。4分、PGで先制された。我慢、我慢、自分たちの力を信じていこう。10分、好機到来。モールから絶妙のタイミングでボールがでた。やった、逆転のトライ。「それにしてもひどい雨。乾いていればもっと楽な展開になったのに…」その後PGを決め前半は7-3とリード。

10分間のインターバルの間も雨は小康状態ではあるが止む気配はない。選手にとっては非情の雨だ。



後半開始。僕たちは必死に楕円球を追った。しかし、お互いにボールが手につかない。ラックになれば水たまり。息ができない。

7分、相手のハンドリングミス。PGが決まった。23分、また相手のミスを誘った。すかさずチョン蹴りでFWがなだれ込んだ。「よし！やった」これで14-3。

28分マイボールラインアウト。きれいなスローイン、キャッチ、そのままTBへ。CTBがぬけた。ダメ押しのトライ。コンバートも決まった。20-3、ホイッスルが高々と響いた。ノーサイド。「優勝だ！！この勢いで地区予選も突破するぞ」僕たちはそう叫んでいた。

今回のOB会報の寄稿依頼があった時に真っ先に頭をよぎったのが、この全国大会県予選の決勝の雨でした。あの雨の中での戦いが自分たちを大きくしてくれたと信じています。今の一高ラグビー部は非常に厳しい状況にあるのかもしれませんが、自分のやってきたことを信じて突き進んでほしいと思います。

「ラグビーを続けていること」 鶴巻 仁（昭和57年度 第35回卒）

気がつくともう30年近く過ぎてしまったが、今でも鮮明に思い出されることが日立一高ラグビー部での生活の中にはたくさんある。体力がなく、練習になかなかついて行けず、いつも疲れていた。3年間合宿のたびに現れる、恐竜のような身体をした木下さんをはじめ大学生の先輩たちは、追い打ちをかけるように身も心も破壊してくれた。朝6時から（1年は準備で5時半から）始まる夏合宿中は、指折り残りの日々を数えた。茶色に濁った風呂も初めてだった。

頼れる三年生が、全国大会に連れて行ってくれて花園が身近に感じられた。一つ上の先輩方は皆優しくいい人ばかりだった。代表決定戦で敗れ全国大会出場が叶わなかった夜、大内さんの家で飲んで次年度に向けて決意を新たにしました。

2年の冬に自分の貧血がわかり、それを克服したら体力が高まるのを実感できた。

有能な同級生たちのおかげで、各地での合宿や練習試合などたくさんの経験ができた。

春合宿では泣いた。黒沢尻工業での合宿から秋田工業へ向かう山中では、バスが遭難してくれることを真剣に願った。関東大会で優勝した。大会が終わるごとに内輪で祝勝会をした。いろいろなことがあった中で1年間公式戦無敗で終えることができた。年が明けて正月、花園で伏見工業に負けた。

こうして思い出多い3年間の高校生活が終わったが、この体験ができたのは滑川監督の日頃の指導に加え、頻りに練習に足を運んでくれた尾又さんをはじめ、たくさんの先輩方、そして陰ながら応援してくれた保護者の繋がりだと思う。今OBとなり、思うように練習に参加できない自分を反省している。

卒業し1年浪人後、茨城大学でラグビーを続け高校とは違った楽しさを覚えた。教員になってからはボバイクラブや他クラブ、全茨城での楽しく真剣なラグビー、40を過ぎてからは不惑クラブでの活動を主として、大きなけがをすることなく続けることができた。長く続けるために、黒沢祐士さんの影響でフルマラソンを10数回走ったり、もらったパーペルを活用したり、最近では自転車に乗るのがなかなか楽しい。

教員になって24年目、航空大在学中に22歳の若さで急逝した那須の話は、担任をもったクラスでは必ず「夢に向かって」というタイトルで道徳の授業で行っている。ここ数年は、卒業間近の中学3年生に「スクールウォーズ」の映画版を上映してラグビーを宣伝している。

こうしてラグビーを続けていられるのも、原点である日立一高ラグビー部のおかげである。今後も脈々と諸先輩方の血を受け継ぎ益々発展するよう、できる限り援助していきたいと思う。ラグビーを始めて30年とちょっと。まだまだ楽しめる。



○ 父母の会だより 父母の会会長 山口 好弘さん（3年生：山口大輔君の父）

日立一高ラグビー部OB会の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年度、父母の会の会長をさせていただいております。3年生の山口大輔君の父の山口好弘です。（会長とは名ばかりで、会計の鈴木さん（圭汰君の父）やOB会の木下さんには、何かとお骨折りいただいております。）

恒例の蹴り初めから始まった今年度の活動を振り返ってみますと、鹿嶋での新人戦では、前日の大雪やインフルエンザ感染が心配された中で、多くの保護者の皆さんが駆けつけてくれました。（個人的には、この常総学院との試合が最も感動しました。負けた試合でこれほど皆で盛り上がり感動できるとは、ラグビーの素晴らしさを改めて実感した試合でした。）

3月の大震災では、皆さん大変なご苦勞をされたことと思います。そんな中、今



年も有望な新人が多数入部し、更なる戦力アップが期待されます。

6月の国体予選は、3年生が揃う最後の大会でした。宿敵勝田工高戦は多くの保護者・OBの皆さんが応援され、今年一番の盛り上がりでした。見事に県立No.1の座を奪回した試合でした。

現在、3年生3人が、全国大会予選に向け新チームでラグビーを続けています。ラグビーと学業との両立は大変ですが、ベスト4を目指してチーム一丸となって練習に取り組んでいって欲しいと願っております。

私たち父母の会も、先生方やOB会の方々と連携を図りながら、生徒達の力になりたいと考えております。保護者の皆様、ご協力のほどよろしくお願いします。

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

平成23年度全国大会県予選の組み合わせが下記のとおり決まりました。

第1戦(2回戦)	10月22日(土) 11:40	堀原運動公園競技場 v s 下妻一と東洋大牛久の勝者
第2戦(準々決勝)	10月29日(土) 14:00	〃 v s つくば秀英
第3戦(準決勝)	11月 6日(日) 11:00	水戸市立サッカー・ラグビー場
第4戦(決勝)	11月13日(日) 13:00	ケーズデンキスタジアム水戸

順当にいけば、第2戦は県総体(兼)国体予選のAブロック決勝で、14-33と惜敗した、つくば秀英高と対戦します。夏を乗り越えて逞しさを増した現役部員たちが、私立4強の一角を崩し、さらに上位を目指してくれることを期待しています。

皆さんの声援が、部員への大きな励みになります。どうか、多くの方々がグラウンドにおいでいただき、激励して下さるようお願いいたします。(組合せ等の詳細は、OB会ホームページをご覧ください。)

○ 「誌上広告」について

OB会の財政安定化をはかるため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(次頁参照) 広告料は年1回発行で1口1万円以上ですが、12人のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計215,000円のご協力をいただきました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

○ 編集後記

3月11日の東日本大震災は、東北3県だけでなく茨城県にも甚大な被害をもたらしました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

不幸中の幸いで、日立一高は校舎・校庭・体育館などに大きな被害はなく、3月中こそ公共交通機関の不通や安全確認のため登校禁止となりましたが、新学期からは概ね通常どおりの学校生活に戻ることができました。

1か月のブランクは部員のコンディションにも影響を及ぼしましたが、これは程度の差はあっても県内どのチームも同じこと、部員たちは再びラグビーができることの幸せを実感したことと思います。

さて、いよいよ来年4月から日立一高は併設型中高一貫教育校になります。付属中学校に毎年80人の生徒を受け入れる代わりに、段階的に高校の生徒・学級数が削減されていきます。詳しくは会報第13号にも掲載しましたが、正に数十年に一度の大変革期を迎えることになります。

私たちOBも母校のために、そしてラグビー部のために今何ができるのか、伝統あるわがラグビー部の歴史を今後70年、80年と継承していけるよう、改めて考えていきたいと思っております。

(編集スタッフ一同)

日立一高ラグビー部OB会報 第14号

発行責任者: 幹事長	木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒)
事務局長	金澤 勉 (平成4年度 第45回卒)
編集者: 幹事	松永 啓 (昭和40年度 第18回卒)
	笠井 知洋 (昭和59年度 第37回卒)
	本田 浩一 (平成2年度 第43回卒)
	柴田 和則 (昭和57年度 第35回卒)
	菊池 敬 (昭和61年度 第39回卒)
問合せ先: 〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄	【電話】0294-21-4890 (FAX同じ)

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話：0293-22-3157

株式会社 岡部工務店

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話：0294-36-1681

有限会社 川西砕石

常務取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1275番地の2

電話：0294-33-0359

秋光電気工事株式会社

代表取締役 秋山 啓市

(昭和49年度 第27回卒)

〒316-0003 日立市多賀町1丁目20番22号

電話：0294-36-1987

株式会社 トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 市川市新井3丁目15番28号

電話：047-396-7176

萩原総合法律事務所

所長 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOHビル2階

電話：0296-48-8875

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 尾又 篤 ほか

(昭和36年度 第14回卒)

茨城クリーン有限会社

代表取締役 夏井 一郎

(昭和37年度 第15回卒)

〒310-0804 水戸市白梅3丁目10番5号

電話：029-231-7741

尾又運送株式会社

代表取締役 尾又 篤 (昭和36年度卒)

取締役 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話：0294-36-2856

株式会社 カントウスプレー

専務取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話：0294-22-0807

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話：0293-46-5110

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話：0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話：0293-46-0172

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 山口 好弘

(ほか 保護者一同)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています！